

【別紙様式3】

再評価実施事業調査書

番号	7	事業名	都市公園整備事業		路線又は箇所名等		長生の森公園		
事業所管課		公園緑地課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成5年度	用地着手年度	平成5年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成8年度 平成24年度	再評価の理由			
費用便益比 B / C	1.13	総費用	235億円	総便益	266億円	基準年	平成 19年度	供用開始 年度	平成 14年度

【事業概要】

本公園は茂原市の市街地から北西約2.5kmの丘陵地にあり、山武・長生・夷隅地域のスポーツ・レクリエーション活動の中心的な役割を担う計画面積48.2haの広域公園で、「人間・スポーツ・環境」をテーマに整備を進めている。

用地買収は平成5年度から着手し、既にほぼ取得を終えている。また、平成8年度からは南側区域の工事に着手し、野球場、庭球場、ゲートボール場等を順次供用し多くの利用者に親しまれている。

【事業の進捗状況】

計画面積 48.2ha、供用面積 10.2ha（供用率 21%）

総事業費 211億円 執行済み額 111億円（執行率 53%）

用地確保面積 47.7ha（確保率 99%）

既供用施設 野球場（H14）、庭球場（H15）、ゲートボール場（H16）、駐車場（H16）

【社会経済情勢等】

- 地球温暖化対策や生物多様性の保全等を背景に、緑地の持続的な保全と活用に対する意識が急速に拡大している。
- 施設づくりや管理運営への県民参加の促進が求められている。
- 効率的な公共投資の観点から、投資効果を早期に発現することが求められている。
- 長生・夷隅地域の一人当たりの公園面積は3.32㎡/人で県平均値（6.12㎡/人）を下回っており（平成18年度末現在）、公園整備の必要性は高い。
- 南側区域のスポーツ施設での大会開催時等に駐車場が不足しており、駐車場の拡充要望が強い。

【対応方針（案）】

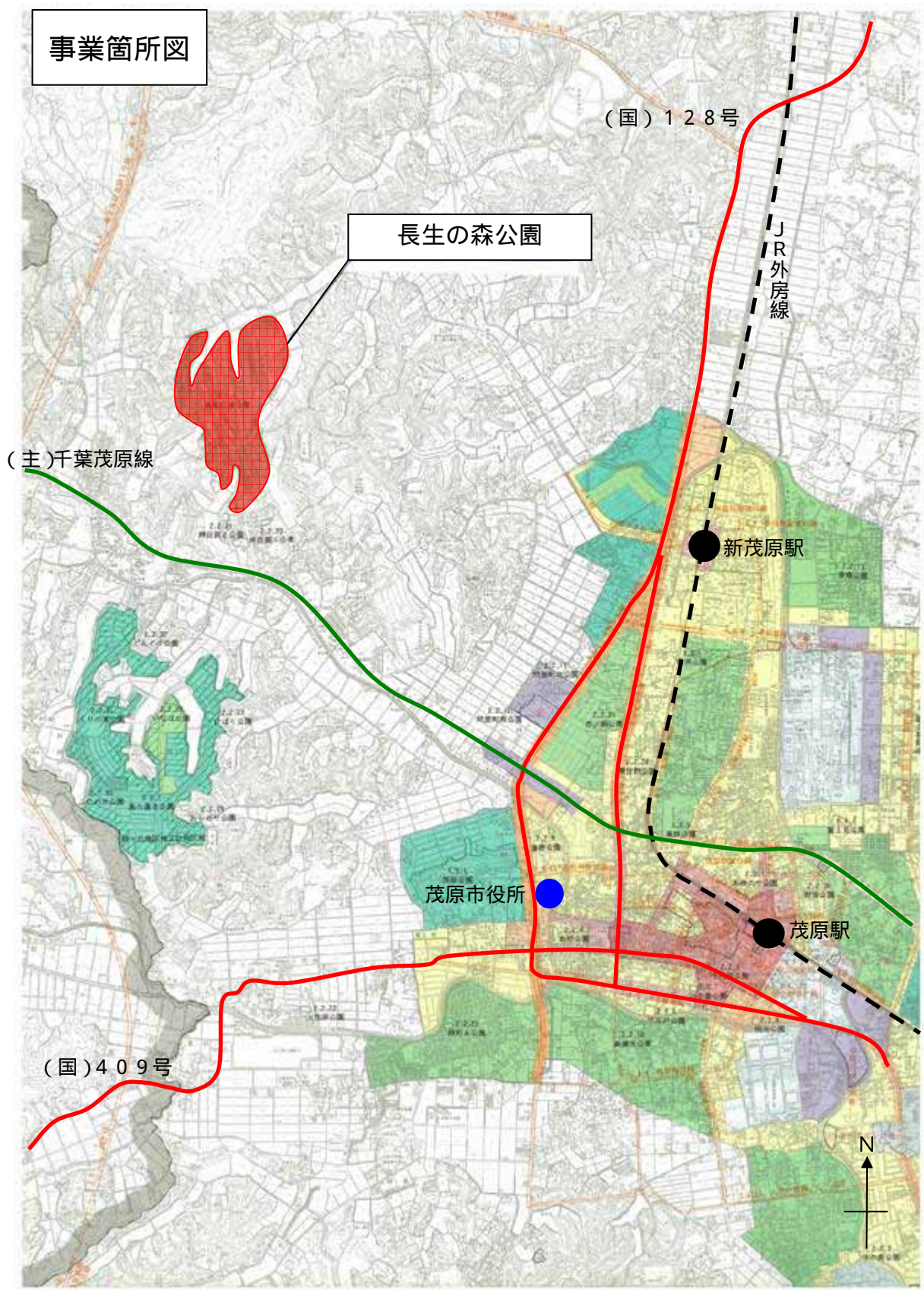
- 社会経済状況や県民ニーズ等を考慮した計画見直しを進めていること。
見直しの視点
 - 里山の自然環境を考慮し、現況の地形や植生を活用する。
 - 事業費の縮減と早期利用のため、大型施設の取り止めや施設整備水準の見直し
 - 計画への県民意見の反映や県民参加による管理運営をはかる。
 主な見直し内容
 - 総合競技場、健康の館、噴水広場等を取りやめ、樹林地を残しつつ運動広場、体験広場等を整備
 - 総事業費の縮減（約70億円の縮減）
 - 事業期間の変更（平成29年度まで5年間延伸）
 費用対効果
 - 費用便益比B / C = 1.61（総費用182億円：総便益293億円）
- 既に用地確保をほぼ終えているうえ、地元からも早期完成が望まれていること。
- 北側区域の整備により既に供用している南側区域の利用促進が見込めること。
- 茂原市の広域避難場所に指定されており、地域防災計画上の重要施設であること。

以上のことから、今後も整備を継続する。

事業概要図

番号	7	事業名	都市公園 整備事業	路線又は箇所名等	長生の森公園
----	---	-----	--------------	----------	--------

事業箇所図



再々評価事業に関する調書

番 号	7	事 業 名	都市公園整備事業	路線又は箇所名等	長生の森公園
事業化年度	平成 5 年度	用地着手年度	平成 5 年度	工事着手年度	平成 8 年度

【再評価の概要】 - 見直前計画 -

再評価実施年度 (基準年)	平成 14 年度	供用開始年度	平成 14 年度	対応方針	継続
B / C	1 . 1 4	総費用	204 億円	総便益	231 億円

再評価時の委員会の意見及び当時の状況

用地の 99% を取得していることは貴重であり、社会情勢の変化を考慮した北側区域の施設整備の計画見直しをした上で、継続が妥当であるとの意見を受けている。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況	5 年後の想定進捗状況
総事業費	211 億円	104 億円	164 億円
用地取得面積	48.2 h a	47.7 h a	48.2 h a
供用面積 (延長)	48.2 h a	3.8 h a	25.8 h a

【再々評価の概要】 - 見直後計画 -

再評価実施年度 (基準年)	平成 19 年度	供用開始年度	平成 14 年度	対応方針	継続
B / C	1 . 6 1	総費用	182 億円	総便益	293 億円

B / C (費用便益比) の変化については、計画の見直しにより C (費用) が大幅に縮減されたこと、平成 16 年 11 月に算出マニュアルの改訂が行われ、公園の持つ環境及び防災機能の評価が上がったことから B (便益) が増大したことによる。

現在の進捗状況 (平成 18 年度末)

	計 画	進捗状況
総事業費	141 億円	111 億円
用地取得面積	48.2 h a	47.7 h a
供用面積 (延長)	48.2 h a	10.2 h a

再評価後の経過及び処理状況

計画見直しの経緯

- ・平成 14 年度 千葉県土木部・都市部所管国庫補助事業
評価監視委員会
「社会情勢の変化を考慮した北側区域の施設整備の計画見直しをした上で、継続が妥当である」
- ・平成 16 年度 ~ 17 年度 基本構想見直し (パブリックコメントの実施)
- ・平成 18 年度 基本計画見直し (ワークショップの実施)
- ・平成 18 年度 ~ 基本設計見直し